



沖縄県便り

# 沖縄で「2021年へのスタートアップのためのダンススポーツの集い」開く



新川沖縄県連合会長 仲嶺大会実行委員長

2020年前半は、新型コロナウイルスのため、東京オープンが中止されたのを始めとして全国的に競技会が開催できなくなりました。7月14日にJDSFとしての「新型コロナウイルス予防対応競技会」の開催ガイドラインが示されたことにより、8月9日様々な感染対策や出場者制限をしながら、PD関東甲信越ブロック運営委員会主催により競技会が再開されました。その後、徐々に各地で競技会が行われるようになり11月には11回の競技会が開催されましたが、昨年11月の24回に比べれば半数以下という状況です。

沖縄県DS連盟では、毎年12月第2日曜日に「サントピア沖縄・全国ダンススポーツフェスティバル」を開催してきましたが、2020年はコロナ禍により早々と中止せざるを得なくなりました。これにより、沖縄県3回の競技会がすべて中止になってしまいましたので、選手のモチベーションを維持し、来年へのスタートアップとなることを目指して「自主競技大会推進サークル/有志一同」(仲嶺英世実行委員長)が、12月10日、沖縄県総合運動公園体育館サブアリーナにおいて「2021年へのスタートアップのためのダンススポーツの集い」を開催しました。

コロナ安全対策としては、入場時の検温、手指消毒、健

康チェックシートの提出、競技中以外のマスクの着用、待機中のソーシャルディスタンスの確保等を行いました。出場選手は16組で、前半のラテンは5競技区分延23組が、また後半のスタンダードは6競技区分延30組が出場し、競い合いました。審判員は、沖縄在住の笹谷毅、近藤恵美子、富田和枝の各氏が快く引き受けてくださいました。

また、優勝カップルからのコメントが届きました。競技会ができたことに喜びを感じずなど、2021年へのステップになったことが実感されました。(総務部長 岸尾政弘)

## 仲間健時&大城広美組(AWASE-DSC)

C級、D級ラテン優勝、  
D級スタンダード優勝



今回の自主競技会は、日々練習に励んできた私たちにとって本当に有難い機会となりました。当日は厳重な感染対策の実施、また無観客試合という、いつもと違う雰囲気漂うスタートでしたが、いざ音楽が流れると空気も一変、心から楽しんで踊ることが出来、またそれが良い結果に繋がりました。今競技会の運営にご尽力いただいた方、審査員を引き受けて下さった先生方、選手の皆さまの協力によって、競技会が無事に開催出来たことに感謝いたします。

## 大城進&由紀子組(南風原ダンスサークル)

シニアIII B級、B級スタンダード優勝

今年はコロナの影響で沖縄県では大会全てが中止になり、選手たちの練習不足やモチベーションの低下があった中で、自主競技大会に参加できた選手たちには大変励みになったと思います。またこのような大会を、みんなの協力の元で開催してもらいたいと思います。



## 照屋隆&谷口ミカ組(AWASE-DSC)

シニアIII B級ラテン優勝、  
D級スタンダード3位



ああっ、試合に出られて本当に良かった！試合が終わってまず感じたことです。競技選手になってやっと2年目という私たちにとって当たり前が当たり前じゃなかった一年の最後に、試合での緊張と興奮！喧嘩ばかりしては始まらない、二人で協力して作り上げる先に見えるダンスの楽しさを実感することによって、来年に向けて新しい目標もできました。ありがとうございました。

## 金城勝三&金良美幸組

(レオンエリ・ダンススクール)

C級スタンダード優勝、  
シニアIII B級ラテン準優勝



沖縄県では通年JDSF競技会が3回ある中、全て中止。練習をしても不安を抱きながら、今の体力やダンスの意欲を失ってはいけないとの思いで練習を続けてきました。来年はどうなるんだろうか？ 日々思いの中、公式の競技会ではないがこの希望の光の連絡が入りました。仲嶺会長はじめ、関係者の皆さまのご尽力にて競技が出来る環境を作って頂き感謝で一杯です。まだまだ、練習不足、また試合経験不足を痛感しての競技会ではありましたが、ダンスが出来る喜びでとても有意義でした。また共に共有できた選手との時間を心に刻み、私たちカップルの2021年スタートアップになりました。今年最初で最後の競技会を、運営して頂き感謝いたします。



役員と審判員のみなさん